

自然体験イベント

「里山を守る植栽」を開催

ACTIVE KUMIAI



多くの関係者が参加して行われた

近年、県内の多くの里山で、景観の荒廃や里山特有の動植物の衰退など生物多様性の劣化が進行しており、保全・再生が急務であることが挙げられている。そこで、従前より笛吹市内の環境美化活動を行っているクリーンネット笛吹協業組合(豊山高志理事長)が中心となって

近隣地域の里山保全に取り組むこととなり、昨年5月に笛吹市内の「里山保全」を目的とした「大野寺の森 森林整備協定」を笛吹市、森林所有者、林業者と締結した。

今年度は、間伐、除伐、歩道整備、植栽、下刈り等を協定締結者等で行う事となっていたが、一般市民等に対する里山保全等を啓発することも重要であると考え、4月20日(土)大野寺の森において、自然体験イベント「里山を守る植栽」を開催した。

このイベントは、組合関係者や笛吹市等の協定締結者の他に、笛吹市内の一般市民等も参加して行われた。

当日は、笛吹市、組合関係者及び一般市民の合計で約60名が参加し、山桜50本、山紅葉50本をそれぞれ植栽し、参加者が各自のネームプレートを取り付けていた。

また、植栽完了後には、バーベキューや自然画作成等の環境に関するオリエンテーションも併せて開催され、参加者それぞれが

地域の里山保全についての決意を新たにしていた。

同組合では、10月19日にも同様のイベントを開催する予定であり、里山保全活動をますます活発に行う予定となっている。



イベントには倉嶋笛吹市長も参加した